



福島県立橘高等学校

進路だより 第1号

令和7年4月25日

橘高校進路指導部



1 2025年度大学入試の結果（合格者数は本校のHPに掲載）

◆共通テストの結果

- ・全国平均点の得点率は前年と比べ少し上がり、文系では59.6%（536点）→62.0%（620点）、理系では62.1%（559点）→63.3%（633点）となりました。（ベネッセ・駿台データネット調べ）
- ・科目別の平均は、「国語」「リーディング」でアップ、「リスニング」「数学ⅡBC」「化学」でダウンしました。

◆国公立大学入試の結果（延べ人数と主要大学合格状況）

- ・国公立大学の合格者数は182名で、過去2番目に多い数字となりました。
- ・難関大学では、北海道大学に1名、東北大学に4名、大阪大学に1名合格しました。
- ・その他、筑波大学に2名、千葉大学に1名、東京学芸大学に4名、東京農工大学に2名、横浜国立大学に1名、新潟大学に17名、金沢大学に2名、東京都立大学に2名の合格者が出ました。
- ・県内・近隣の大学としては、福島大学58名、福島県立医科大学11名、山形大学12名、茨城大学7名、宮城教育大学5名です。福島大学の合格者数は、今年も県内の高校で最多です。

◆国公立大学の受験型別の結果

- ・学校推薦型選抜・総合型選抜30名、一般選抜の前期・独自128名、一般選抜の後期・中期24名でした。

◆私立大学入試の結果（延べ人数）

- ・首都圏の有名私立大学（G-MARCH以上）の合格者は、早稲田大学2名、明治大学1名、中央大学3名、法政大学3名でした。
- ・多くの合格者を出した大学としては、東北学院大学88名、東北福祉大学32名、宮城学院女子大学16名、日本大学工学部12名で、近隣の大学への出願が多かったようです。（ただし、1人で同一大学を複数回受験しており、実人数はこれよりもっと少ない数です）

◆進路指導部の総括

国公立大学の合格者182名という数は昨年度の174名より多く、令和4年度入試に次ぐ過去2番目の数字であり、大変すばらしいといえる結果です。今後は、難関大学、準難関大学にさらに多くの合格者が出るよう指導を充実させていきたいと考えています。

受験型に関しては、学校推薦型選抜、総合型選抜の合格者数は昨年度よりやや減少したものの、東北地方各県の国立大学に限らず、関東圏の国公立大学の合格者数が例年より多かったことが大きな特徴でした。また、出願数に対する合格者の割合が高かったのは、福島大学人間発達学類で6名中5名、福島県立医科大学の保健科学部で6名中5名の合格であり、後続の学年には励みになる実績です。

一般試験においては、国立大学の合格者が多かったのが今年度の特徴でした。さらに公立大学においても東北・関東地区のみならず、北信越地方や東海地方の大学を受験する生徒がおり、自分の学びたいことができる大学や自分の夢を実現できる大学を懸命に探して受験した、と言えるでしょう。

進路指導部としても、今後はこれらの素晴らしい実績を継続・発展させられるように、「進学指導における更なる指導体制の強化」や「進路対策費等の有効活用」、「進路講演会」を初めとした効果的な進路行事などの充実を図っていききたいと考えています。



② 今年度の進路指導年間計画（予定）

今年度の予定している進路関係の行事等について以下の通り計画しております。今後、内容の説明や実施報告等については、進路だよりや本校のホームページ(*)を通じて報告いたしますので、ご確認ください。

昨年度は予定どおり行事を実施することができ、その様子はホームページに掲載しております。今後も、保護者の方々のご理解とご支援・ご協力をお願いいたします。（* <https://tachibana-h.fcs.ed.jp/>）

